

事務事業名		成人式の開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																							
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																							
	施策名	1 6 青少年健全育成の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計 款 項 目 事業																							
	基本事業名	0 2 市民意識の啓発		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度～)		01 10 05 01 04																							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		事務事業区分																							
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課		※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業 B 施設整備																							
	課長名	熊谷 善男				C 施設管理 D 補助金等																							
	係名	生涯学習係	電話			0192-27-3111		E 一般(A～D以外)																					
	担当者	木村 亮	内線			290																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>成人の門出を祝い飛躍を祈念するとともに、成人としての自覚を啓発するため、新成人による実行委員会を組織し、成人式を開催する。</li> <li>主な業務は、実行委員会の委員選出(市内在住の新成人者の情報収集、出身中学校ごとに2～3名程度個別依頼)、実行委員会の開催(委員20名、3回開催)、式典の準備(新成人のリストアップ、案内状の送付、来賓への案内、記念品の配布、パンフレットの作成、駐車場整理委託)、記念行事の準備、新成人の受付(委員)、進行管理(教育委員会)。</li> <li>事業費は、成人者記念品代、パンフレット印刷費、花代、駐車場整理委託費などに支出される。</li> </ul>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
		延べ業務時間																											
人件費計(B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>成人式実行委員会の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>実行委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	ア	成人式実行委員会の開催回数	回	イ	実行委員数	人	ウ		
名称		単位											
ア	成人式実行委員会の開催回数	回											
イ	実行委員数	人											
ウ													
今年度計画(今年度計画している主な活動)													
成人式実行委員会の開催、記念行事の実施、記念品の配布、成人式の開催													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
新成人	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>新成人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	カ	新成人数	人	キ			ク		
名称		単位											
カ	新成人数	人											
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
成人としての自覚をもってもらう。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>新成人の成人式出席率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	サ	新成人の成人式出席率	%	シ			ス		
名称		単位											
サ	新成人の成人式出席率	%											
シ													
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)													
社会のルールを身につけてもらう。 社会や地域のことを考えるようになってもらう。													

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">投入量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>元年度(目標)</th> <th>2年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>458</td> <td>283</td> <td>274</td> <td>286</td> <td>411</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>458</td> <td>283</td> <td>274</td> <td>286</td> <td>411</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>540</td> <td>540</td> <td>540</td> <td>540</td> <td>540</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>2,618</td> <td>2,443</td> <td>2,434</td> <td>2,446</td> <td>2,571</td> <td>2,618</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤ 活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>人</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥ 対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>458</td> <td>447</td> <td>393</td> <td>422</td> <td>413</td> <td>384</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦ 成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>80.1</td> <td>83.7</td> <td>78.6</td> <td>78.9</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		投入量	単位	年度						27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	事業費	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	458	283	274	286	411	458	事業費計(A)	千円	458	283	274	286	411	458	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	延べ業務時間	時間	540	540	540	540	540	540	人件費計(B)	千円	2,160	2,160	2,160	2,160	2,160	2,160	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,618	2,443	2,434	2,446	2,571	2,618	⑤ 活動指標	ア	回	4	3	3	3	3	3	イ	人	21	21	17	12	20	20	ウ								⑥ 対象指標	カ	人	458	447	393	422	413	384	キ								ク								⑦ 成果指標	サ	%	80.1	83.7	78.6	78.9	90.0	90.0	シ								ス							
投入量	単位			年度																																																																																																																																																																				
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)																																																																																																																																																																	
事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																						
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																						
	地方債	千円																																																																																																																																																																						
	その他	千円																																																																																																																																																																						
	一般財源	千円	458	283	274	286	411	458																																																																																																																																																																
事業費計(A)	千円	458	283	274	286	411	458																																																																																																																																																																	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																
	延べ業務時間	時間	540	540	540	540	540	540																																																																																																																																																																
	人件費計(B)	千円	2,160	2,160	2,160	2,160	2,160	2,160																																																																																																																																																																
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,618	2,443	2,434	2,446	2,571	2,618																																																																																																																																																																
⑤ 活動指標	ア	回	4	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																
	イ	人	21	21	17	12	20	20																																																																																																																																																																
	ウ																																																																																																																																																																							
⑥ 対象指標	カ	人	458	447	393	422	413	384																																																																																																																																																																
	キ																																																																																																																																																																							
	ク																																																																																																																																																																							
⑦ 成果指標	サ	%	80.1	83.7	78.6	78.9	90.0	90.0																																																																																																																																																																
	シ																																																																																																																																																																							
	ス																																																																																																																																																																							

事務事業ID	0833	事務事業名	成人式の開催事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年、大船渡市市制施行以来、毎年開催してきている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	近年の少子化に伴い、成人式対象者が減少傾向にある。 2022年に成人年齢が18歳に引き下げられることに伴い、成人式のあり方を再検討する必要がある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	成人者の家族の関心も非常に高く、年々家族等一般参観者数が増加している。 少子化と大学等への進学率上昇により、市内に在住している新成人数は減少しており実行委員の確保が困難になっている。 例年、午前開催のため、着付け等により、日の出前から準備をしなければならない新成人がおり、負担が大きいことから、午後の開催を求められている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 成人式に出席することで、成人としての自覚をもってもらうことは、社会のルールを身につけ、社会や地域のことを考えるようになってもらう機会でもあるため、結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 実行委員会だけでは開催は難しく、実質的には市が行わなければ実施することができない。市の施策目的である青少年の健全育成にも結びつくため、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、毎年度20歳を迎える新成人であり、拡大・縮小の余地は無い。 意図についても、成人者の飛躍を折念し、成人としての自覚をもってもらうことであり、拡大・縮小の余地は無い。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないか？ 新成人の対象人数が毎年度若干の減少傾向にあり、成人式に出席する新成人の人数が大幅に増える見込みは無い。 また、新成人の成人式への出席率は高い率で推移しており、大幅な出席率の向上は見込めない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 成人としての自覚を持たせるための類似事業がなく、成人者の家族も成人式を人生の大きな節目と考えているため、廃止した場合の影響は大きいと思われる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 経費はパンフレットや会場設営に係る経常的な経費であることから、削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 業務の大半はほぼ1名の職員が担当しており、所要時間の削減は難しい。当日の会場整理や進行管理には、他の市職員の動員も必要であり、業務時間数の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ここ数年、出身中学校ごとに撮影する記念写真を記念品とし、出席した新成人にのみ配布しており、有効性と効率性の両面に寄与している。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

<b>(1) 改革改善の方向性</b>		<b>(2) 改革・改善による期待成果</b>																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	例年、新成人は高い参加率で、式典中の態度や記念写真の撮影も概ね良好である。 また、成人者家族等の参観が年々増加している。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<b>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</b>																								
少子化の進行と大学等への進学率上昇により、市内に在住している新成人数は減少しており、実行委員の確保が課題である。																								

**4 課長等意見**

<b>(1) 今後の方向性</b>	<b>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</b>
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状の事業を継続する必要があるが、2022年に成人年齢が18歳に引き下げられることから、対象者を何歳にするか検討する必要がある。